

# 平成31年度の事業をお知らせします

## 【総務費】

- ・開町 100 年記念事業経費 700 万円  
開町 100 年記念事業開催のための実行委員会への補助に係る経費
- ・庁舎等建設事業 8,483 万円  
庁舎等建設実施設計業務委託などに係る経費
- ・地方創生事業 7,764 万円  
移住・起業・空家等利活用促進などに係る経費

## 【民生費】

- ・障害者総合支援事業経費 2 億 5,264 万円  
障害福祉サービス利用、更生医療などの給付費に係る経費
- ・子ども・子育て支援事業 1 億 4,468 万円  
認定子ども園運営の補助、子育て支援センター事業に係る経費

## 【衛生費】

- ・地域医療維持助成事業 1 億 4,000 万円  
住民の健康を守る地域医療維持のための津別病院への助成
- ・一般廃棄物最終処分場施設整備事業 3 億 5,623 万円  
一般廃棄物最終処分場土木施設、浸出水処理施設などの建設に係る経費

## 【農林業費】

- ・国営農地再編整備事業推進事業 9,484 万円  
国営農地再編換地業務などに係る経費
- ・町有林整備事業 9,706 万円  
施業計画に基づく造林・保育事業等の実施に係る経費



認定子ども園



津別病院



津別高校



混乗スクールバス

## 【商工費】

- ・商工振興補助費等 3,496 万円  
起業等振興促進補助などに係る経費

## 【土木費】

- ・道路橋梁維持管理経費 1 億 2,237 万円  
町道等維持管理業務委託などに係る経費
- ・橋梁長寿命化修繕事業 1 億 1,880 万円  
橋梁長寿命化のための点検、補修工事などに係る経費

## 【教育費】

- ・津別高校振興対策事業 4,635 万円  
津別高校振興対策（バス通学費、制服購入に係る補助）や公設塾運営業務に係る経費
- ・スクールバス経費 3,454 万円  
スクールバス運行などに係る経費

## 【消防費】

- 3 億 2,056 万円
- ・美幌・津別広域事務組合（津別消防署）への負担金などに係る経費

# 平成31年度 町政方針（抜粋）

3月5日から始まった定例町議会において、平成31年度予算の審議が行われました。議会開会の冒頭で佐藤町長から予算提案にあたり町政方針が示されましたので、その一部を紹介いたします（町政方針の全文は町のホームページに掲載しています）。

## 公約の推進

公約に掲げました項目の1つ目の「買い物環境の整備」であります。間もなく完成する「複合商業施設等整備基本構想」に基づき、地元で買い物ができる環境の充実を図って参ります。

2つ目の「交通の便の改善」であり、本年は、「地域公共交通アドバイザー業務報告書」をもとに、一つずつ解決方策の実証を行って参ります。

3つ目の「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」の推進につきましては、計画の皮切りとして、多くの方々から意見をいただいた複合庁舎の基本設計に基づき、本年度は9月までに実施設計を完了させ、11月には建設に着手できるように執り進めて参ります。また、消防庁舎につきましても12月までに実施設計を完了させ、持続可能なコンパクトなまちづくりの第一歩を踏み出して参ります。

4つ目の「町民の満足度のアップ」につきましても、本年度は、5回目の満足度調査を行う年度であることから、各項目において問題点を洗い出し、「満足+やや満足」が70%となるよう取り組みを進めて参ります。

## 地域振興

人づくりの推進につきましては、「人づくり・まちづくり活動支援事業」により、町民の自主的活動を支援することも、北海道大学公共政策大学院の学生を中心とした組織との交流事業や高大連携事業を通し、まちづくりの基盤となる人づくりを進めて参ります。

花のまちの推進につきましては、町民や来町者への快適な生活環境や豊かな景観を生み出すため、引き続き花のまち推進協議会やフラワーマスター連絡協議会等と連携し、樹木を含めた花を活かしたまちづくりに取り組んで参ります。

指定管理制度により運営している町内2箇所の宿泊施設につきましては、町内唯一の温泉施設である「ランプの宿 森つべつ」は、ラグビー合宿中止の影響を力バシ宿泊客を維持しており、今年度から、さらに3年間の指定管理を延長したところです。「みいとインつべつ」は、営業及び工事関係者と合宿により順調な営業が続けられており、両施設とも今後の効率的な運営と利用拡大を図られるよう要請するとともに支援を行うて参ります。

観光につきましては、木材工芸館のリニューアルオープン、津別町民の森自然公園（通称：ノノの森）ネイチャーセンターのオープンにより、町民の皆様楽しんでいただくことはもとより、チミケツ湖や津別峠などの自然景観を活かしたガイド事業、さらには道の駅あいおいの整備など、施設と観光ルートの拠点を充実させてきたところです。観光協会をはじめとする関係団体とさらなる誘客活動への連携を図るとともに、イベント開催への助成を行いながら、観光協会の主体強化に向けた支援を行って参ります。

## 行政改革と機構改革

平成22年3月に策定しました「津別町新行政改革大綱推進計画（改訂版）（平成22年度～31年度）」は、本年度最終年となることから、これまでの推進内容を検証するとともに、現在策定中の第6次総合計画との整合性を図りながら、新たな行政改革大綱推進計画及び前期推進計画を策定して参ります。

機構改革につきましては、庁内検討委員会を設置し、新複合庁舎建設に係る住民サービスの向上に向け検討を進めてきた結果、課については再編する必要性はないものと判断したところです。しかしながら、グループ制検証結果に基づき策定した「組織運営改善3か年重点方針」に掲げた具体策の一層の加速化を図るため、平成31年度よりこれまでのグループ制の優位性を活かしつつ係制に

移行し、係長を配置することとしました。

## 平成31年度予算編成

平成31年度予算は、最終年となる「津別町第5次総合計画」から次期総合計画に向け、地方創生事業に関する「津別町人口ビジョン」及び「津別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基本に編成したものであります。

中でも、まちなかにコワーキングスペースができ、さらにゲストハウス開設へと事業が進んでおり、また、まちづくり会社が本格的に活動を開始し、さらに障がい者・生活困窮者の働く場の創出に向けて動き出しているところです。こうした地方創生推進交付金事業が、人口減少社会に対応する確かな取組として実現してきておりますので、この官民一体となった動きをさらに支援して参る考えであります。

第6次総合計画につきましては、策定委員会や審議会を設置し、住民アンケートや各種ワークショップ等により、基本構想がまとまりつつありますので、平成31年度はこの基本構想に基づき、今後10年間において特に重点的に取り組むべきプロジェクトを実行計画としてまとめ、町民が望む町の将来像の具現化に向けて取り組んで参る所存であります。

本年度も職員と一丸となり、町づくりに取り組んで参りますことをお誓いし、平成31年度の町政方針とさせていただきます。

津別町長 佐藤多一